



## 株式会社 翼工業



画像・菜種油

○本社所在地：・・・東京都  
○事業概要：・・・解体業、解体時使用する防音パネルの製造、販売、レンタル、搾油工場事業

○常時使用する従業員：・・・70名  
(2024年4月期)  
○現在の売上高：23億円 (2024年4月期)  
○法人番号：1011701010814  
○Web：https://tsubasa-kogyo.net/

### 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
佐藤 清

### 「ノンヘキサン圧搾製法」でニュートラルな未来へ羽ばたく

当社従業員一同は、力を合わせ解体業に全力投球して参りました。「解体」は「次世代へのバトン」である。地域の皆様の思い入れ深い建物を崩し、鉄や冷媒等、再生出来るものは余すところなく再生を行います。我々が今回目指す搾油再生事業も同様の思いを抱き自然豊かなオーストラリアの大地、君津の自然が育む「安全な菜種」を原料とし、ヘキサンを使用しない油と肥料、飼料にリメイクし、社内外問わず安心な労働環境と製品で、地域経済への貢献を果たして参ります。

### 売上高100億円実現の目標と課題

#### <実現目標>

2033年の売上高達成に向けて、解体業と新規事業である搾油工場事業の両輪を回し、売上高100億円企業へと成長を果たします。



#### <課題>

- ・新規参入となる為、ノウハウを構築しなければならない。
- ・搾油工場実現に向けて、きめ細かな計画を立て、実現に向けて着実に進めていかなければならない。
- ・国内外のサプライチェーン整備を進めなければならない。

### 売上高100億円実現に向けた具体的措置

#### <目指す成長手段>

高度経済成長期に立ち並んだ建物の老築化を背景に成長真っ最中の解体業を母体とし、今回着工予定の「欧州型マイクロプラント」の建築、中国の搾油工場ノウハウを活用した「ノンヘキサンの油」で君津ブランドを立ち上げ、高品質の食品油、ノンヘキサンの搾り粕から作る安全な肥料、飼料を国内外へ拡販し、安全な労働環境の構築、地域社会の皆様にご喜ばれる企業へと成長を目指します。

#### <実施体制>

親族が経営する中国搾油工場のノウハウを持つ元工場長の王と、長年三井物産で培った輸出入に特化した広い知見を持つ東、国内外に食品販路を持つ営業担当でチームを形成し実現へ向けて取り組んでおります。

責任者  
佐藤 清

推進責任者  
レーマンイブラヒム

工場長  
王

物流  
東

海外国内販路  
武田

## 100億へ向けた具体的な実現方法

### 【ご挨拶】

当社は平成18年設立から加速的な成長をモットーに新鋭機器や防音パネルによる環境負荷削減に取り組み、常に顧客、地域住民の立場に立って解体業で成長して参りました。解体業近況としては、高度経済成長期に建築した建物が連続的に限界を迎えた建て替え、更に再開発プロジェクトが活発に進んでいること、高齢化社会を背景とした空き家増加問題が後押しし、1兆円を超える規模の産業に成長しております。この成長業界を堅実な土台として我々翼工業は今回建築する「**欧州型マイクロプラント稼働**」を契機に環境に配慮した100億規模の企業へ「**加速的な成長**」を実現して参ります。



欧州型マイクロプラントの持つ柔軟性を活用し、「輸入原料 × 国内製造 × 海外輸出および国内販売」の構築。建築予定のマイクロプラントは最新設備による運用コストメリット、HACCP、保税倉庫の機能を有しており「**日本産**」「**非遺伝子組み換え原料使用**」「**ノンヘキサン圧搾製法**」の高付加価値商品を製造し、健康志向の強い国内消費者ヨーロッパ、人口増加、食生活の多様化で需要が高まっているASEAN地域等へ輸出、搾り粕となるナタネミール等も活用し、一次産業～輸出を繋ぐ循環型ビジネスモデルを構築します。

### 【環境・SDGs への貢献】

「**ノンヘキサン圧搾製法**」により化学溶剤不使用の油、ミールを抽出し、国内外の一次産業と連携した循環型農業、リジェネラティブ農業を促進します。

### 【地域社会への貢献】

一般的に食用油製造工場ではヘキサンという化学溶剤を使い歩留まり効率を重視して油を抽出しています。一方でヘキサンは眩暈、しびれ、筋力低下、歩行困難等人体への悪影響があり、WHOでは神経毒性の可能性を警告しています。今回当社が建築するマイクロプラントでは「**ノンヘキサン圧搾製法**」を確立し、ヘキサン不使用の「**人体に安全な持続可能な労働環境**」を提供します。

